

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(山梨県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時(平成26年)	1年後(平成27年)	2年後(平成28年)	3年後(平成29年)	目標値(平成29年)				達成率	計画時(平成26年)	1年後(平成27年)	2年後(平成28年)	3年後(平成29年)				目標値(平成29年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
笛吹市	笛吹農業協同組合	果樹(モモ)	海外向け出荷量の増加	輸出量 7,573kg	-	輸出量: 22,400kg 増加割合: 295%	輸出量: 22,934kg 増加割合: 302%	輸出量: 11,000kg 増加割合: 145%	448.4%	輸出量が 302%増加した。	果樹(モモ)	契約取引割合の増加	総出荷量: 1,371.2t 契約取引数量: 496.4t 契約取引割合: 36.2%	-	総出荷量: 1,539t 契約取引数量: 838.0t 契約取引割合: 54.45%	総出荷量: 1,609.6t 契約取引数量: 910.5t 契約取引割合: 56.57%	総出荷量: 1,400t 契約取引数量: 732.9t 契約取引割合: 52.35%	126.1%	契約取引の割合が 20.37%増加した。	集出荷貯蔵施設 (4,961.03㎡) 透過式光センサー 選果機 (4条型、光センサー4台) 前予冷施設 (86.8㎡) 保冷庫 (58.5㎡)	696,301,880	321,182,000	0	0	375,119,880	平成28年5月27日	JAへの新規出荷者の増加により、出荷量が増加した。海外向け出荷量とともに順調に伸ばすことができた。JAへの新規出荷者の増加により、出荷量が増加した。海外向け出荷量とともに順調に伸ばすことができた。JAへの新規出荷者の増加により、出荷量が増加した。海外向け出荷量とともに順調に伸ばすことができた。	契約取引数量、及び海外向け出荷量とともに順調に伸ばすことができた。JAへの新規出荷者の増加により、出荷量が増加した。海外向け出荷量とともに順調に伸ばすことができた。	
山梨市	フルーツ山梨農業協同組合	果樹(モモ・ブドウ)	利用率の向上	利用率: 85% *3地区 4施設 の利用率= 3,044t/3,582t(加納岩、後屋敷ブドウ、日川)	-	利用率: 77.1% 合計 1,927t/2,500t (モモ: 1,449t、 ブドウ 478t)	利用率: 88.7% 合計 2,217t/2,500t (モモ: 1,754t、 ブドウ 463t)	利用率: 100% 合計 2,500t/2,500t (モモ: 2,000t、 ブドウ 500t)	24.7%	利用率が 3.7%増加した。	果樹(モモ)	ブランド品の割合の増加	ブランド品の割合: 38.3% 総出荷量: 2,522t ブランド品: 967t	-	ブランド品の割合: 42.8% 総出荷量: 1,449t ブランド品: 611t	ブランド品の割合: 46.9% 総出荷量: 1,754t ブランド品: 822t	ブランド品の割合: 47.3% 総出荷量: 2,000t ブランド品: 946t	95.6%	ブランド品の割合が 8.6%増加した。	【加納岩共選所】 集出荷貯蔵施設増築 (4,397.43㎡) 透過式光センサー 選果機 (4条型、光センサー3台) 前予冷施設 (173.6㎡) 【日川共選所】 ブドウ選果レーン設置	666,236,880	308,443,000	0	0	357,793,880	平成28年3月28日	モモは春先の小玉果、収穫期の高温の影響による果実の軟化、落下によるロス発生し、利用率を下回る出荷量であった。ブドウは今年改作が進み、出荷量の減少が続いており、目標を達成できなかった。今後は栽培管理指導等を徹底し、天候不順等への早めへの対応に努め、目標を達成できるような指導をしていく。	平成29年も、ぶどうにも、全国的に天候不順の影響により、利用率、ブランド率とも目標を達成できなかった。ブドウは今年改作が進み、出荷量の減少が続いており、目標を達成できなかった。	

都道府県平均達成率 80.1% 総合所見
 ・笛吹農業協同組合(一宮西共選所)の取組については、目標を大きく上回る成果が得られた。
 ・フルーツ山梨農業協同組合(加納岩共選所、日川共選所)の取組については、系統外出荷者の勧誘・取り込みにより総出荷量の増加を図り、さらに栽培管理指導の徹底により高品質果実の生産を行いブランド品に向けた出荷量の確保を行うことで、目標達成は可能であると考えられるため、引き続き各指導機関と連携し、適切な指導を行っていく。

(注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
 2 要綱第3の4の(2)のAのただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。